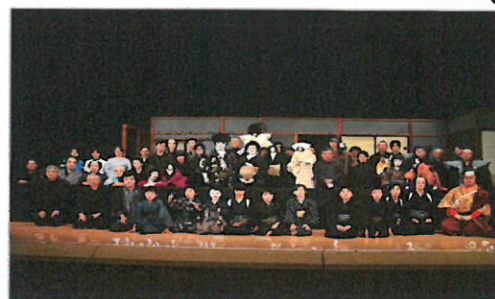


平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下條歌舞伎一步前へ！プロジェクト パート2
事業主体 (連絡先)	下條村歌舞伎保存会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,496,000 円

事業内容

・義太夫・三味線の後継者育成事業は、国重要無形文化財指定保持者認定者の竹本土佐恵先生による指導を年3回延べ6日間開催した。合同公演の際には、三味線教室の成果発表会を開催し3名の研修生が発表を行った。
 ・三味線購入を2本計画していたが、参加者数に応じての1本の購入とした。
 ・今田人形座との合同公演では、両団体とも得意とする演目「菅原伝授手習鑑 寺子屋の段」を前半を下條村歌舞伎保存会、後半を今田人形座が演じ、史上初めての公演を開催した。



【H29. 11. 23合同公演終了記念写

【目標・ねらい】

事業効果

①国重要無形文化財指定保持者認定者の竹本土佐恵先生の講座を行うことができた。3回6日間の講座を開催し延べ149人の参加者があり、H29. 11. 23には成果発表会として下條村コスモホールにて3名の研修生の発表を行うことができた。

②H29. 11. 23に合同公演を行いました。両団体で得意とする演目「菅原伝授手習鑑 寺子屋の段」の上演を前後半に分けて、行いました。約300名の観客があり、歌舞伎保存会員・今田人形座員相互の交流と、各団体の演目、人形浄瑠璃と歌舞伎の違いを会員及び観客の皆さんで感じることができました。伝統芸能の奥深さを学びながら継承の機運を高めることができた。

①義太夫三味線の後継者の育成

②人形・歌舞伎の違いを超えての伝統芸能継承

※自己評価【C】

【理由】

義太夫・三味線講座の参加者希望者に対する対策が十分でなく予想よりも参加者が少なかった。今後改善していきたい。

今後の取り組み

今後についても、今回繋がったご縁を大切に、義太夫・三味線講座を引き続き行い後継者育成を行っていき、公演も積極的に行うことにより歌舞伎に関わる役者などの育成も行っていきたい。また、地域の伝統芸能を共に守っていく今田人形座さんなどの様々な団体ともつながりながら、下條歌舞伎を伝承していきたい。